

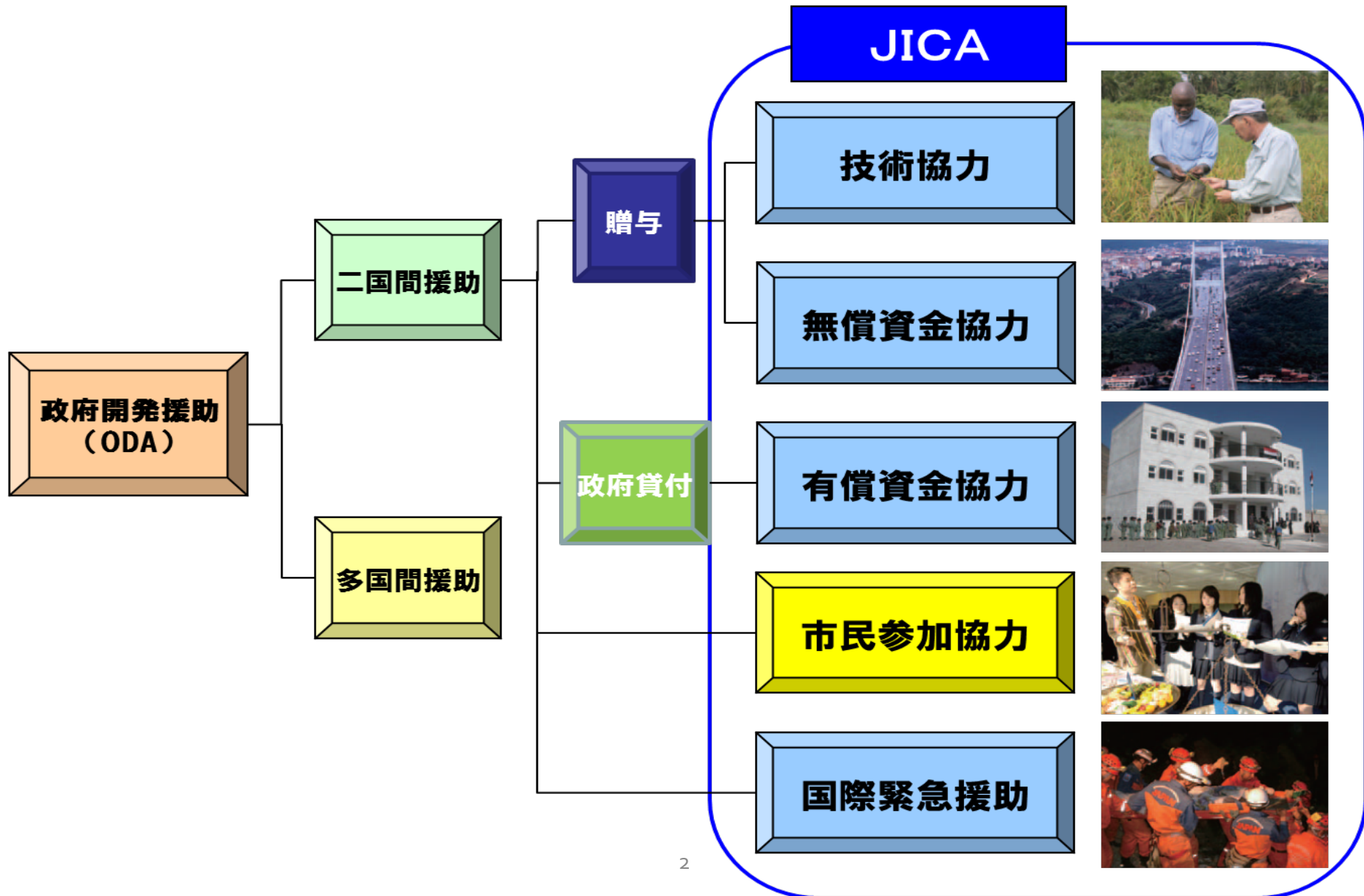
ネパールシンズリ道路 事業の概要と歴史的背景

(独) 国際協力機構 JICA

南アジア部 亀井温子

2017.11.1 日本道路会議

日本のODAの形態とJICAの概要



JICAの支援メニュー

最適な課題解決の提供へ



市民参加協力

青年海外協力隊派遣などのボランティア事業、
JICA基金による寄付金の運営、
国内における開発教育の実施、
NGO・自治体・大学等の国際協力活動への参加支援



国際緊急援助隊

海外で発生した大規模な災害に際し、
国際緊急援助隊を派遣する

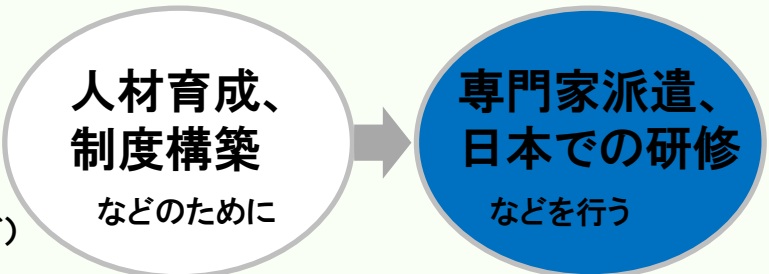
例：タイの洪水被害に対する派遣、ニュージーランド南東の地震に対する派遣



技術協力

技術や
ノウハウの伝授など
人を通じた協力

例：農業支援プロジェクト(ウガンダ)



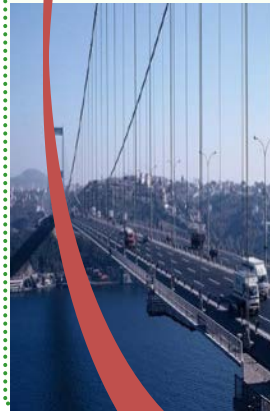
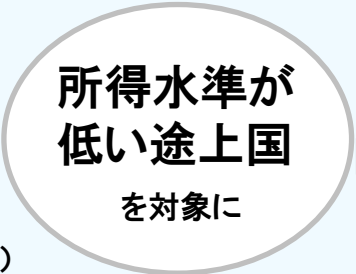
JICAの支援メニュー

最適な課題解決の提供へ



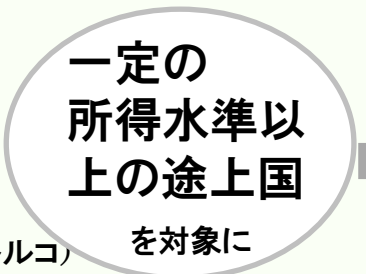
無償資金協力

基礎インフラの整備、
例：学校、病院、井戸、道路
医薬品、機材の調達
など
例：給水支援プロジェクト（カンボジア）

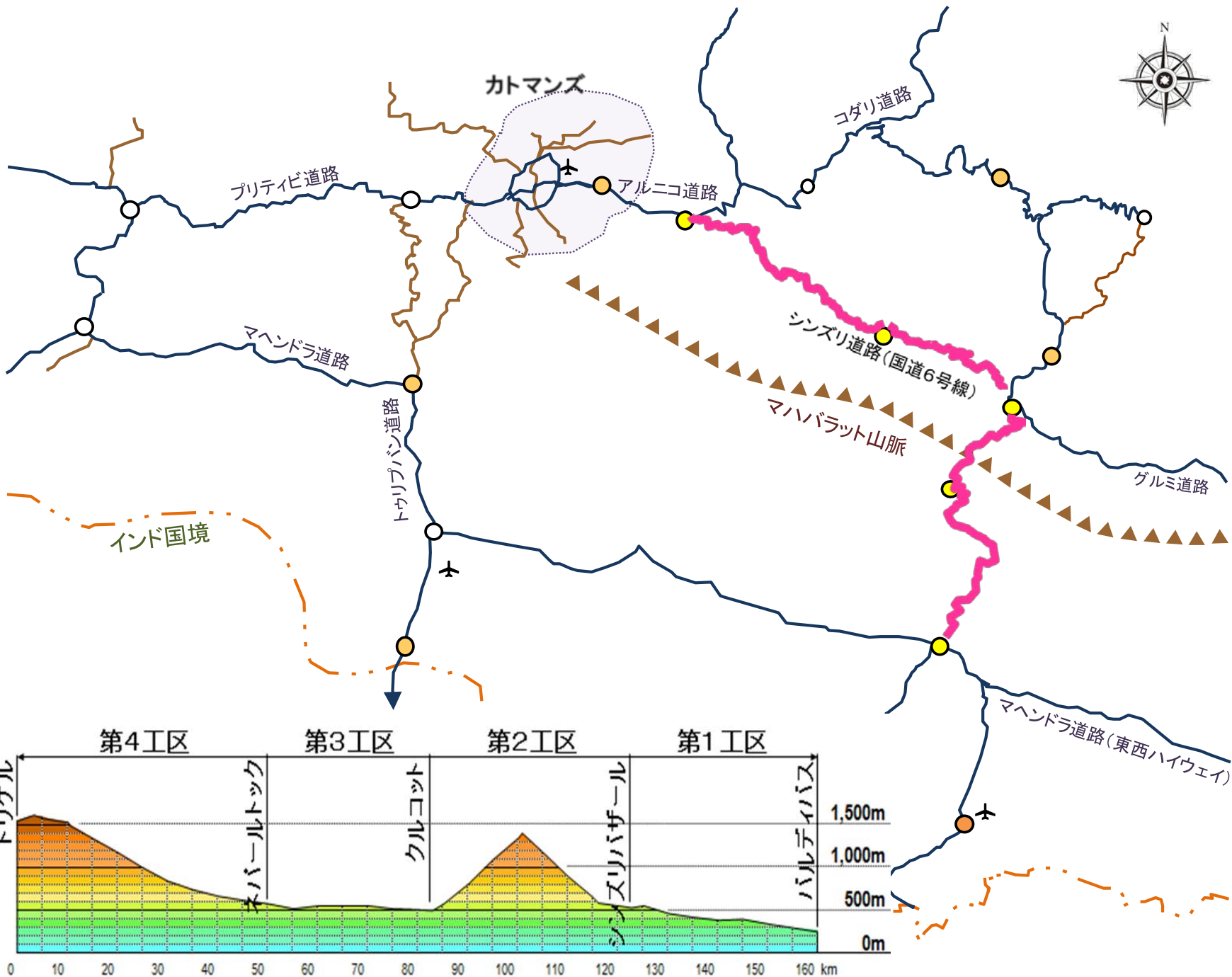


有償資金協力

大規模規模インフラ
道路、橋、地下鉄、発電所、
上下水道設備 など
例：ボスポラス海峡横断第二大橋（トルコ）



相手国に返済の義務を課さない資金協力を通じた施設建設・改修、機材供与等の協力。
供与だけでなく相手国の自助努力を支援することを重視。



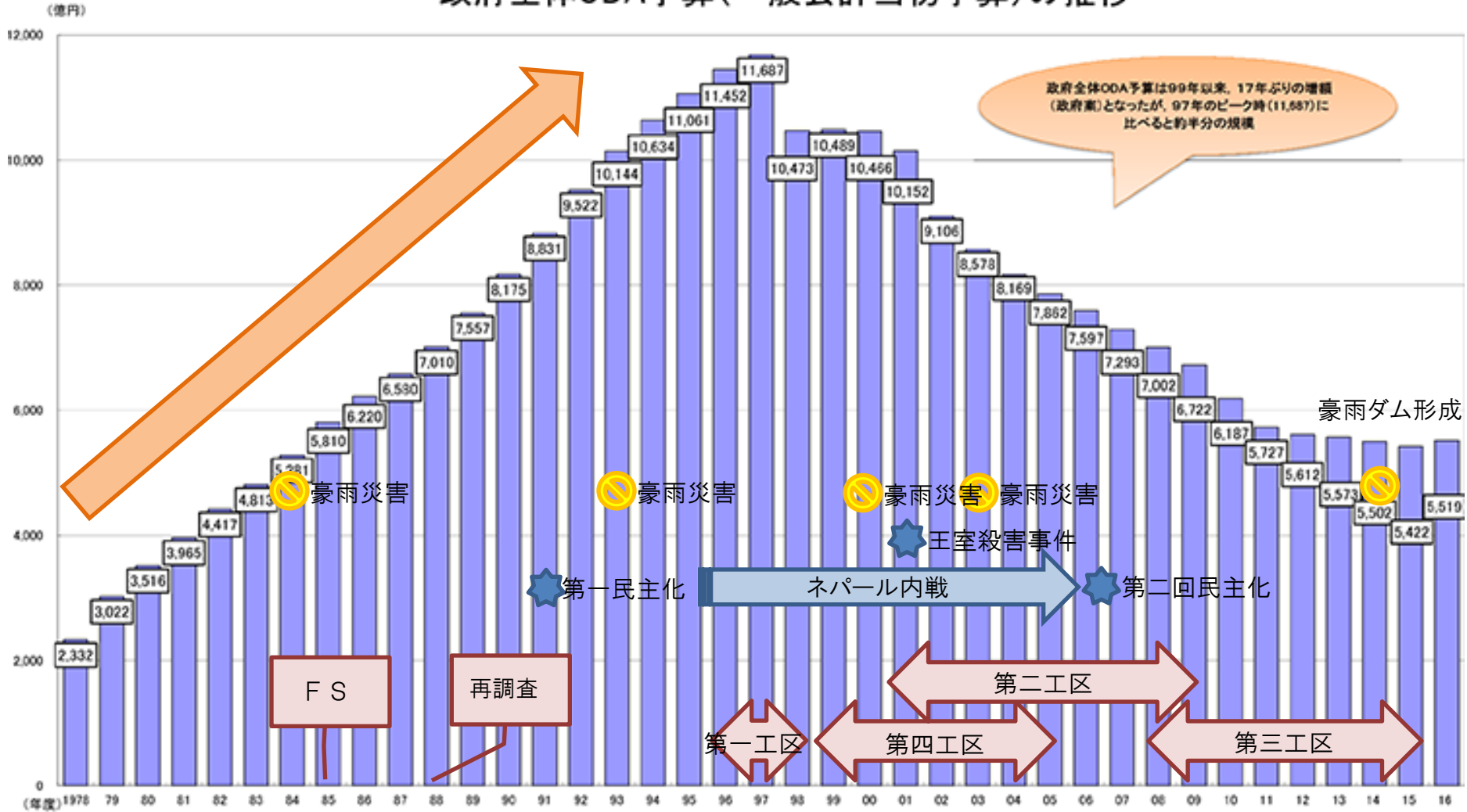






背景：ODAの盛衰と激動のネパール

政府全体ODA予算(一般会計当初予算)の推移



20年におよぶ建設が竣工するまで

チャレンジ

- 厳しい施工環境
- 自然災害による崩壊、工事のやり直し、復旧対策
- 内戦下の安全管理
- ストライキ、住民からのプレッシャー

乗り越える力 → 「日本だからやり遂げた」と言える

- コンサルタント(日本工営)の皆さんの一貫した熱意と真摯な姿勢
- 施工企業(安藤ハザマ/大成)の底力と責任感
- ネパール側キーパーソン、道路局ラナさんの存在
- ネパールの状況とコストを意識した採用技術のバランス
- 日本政府/JICAの一貫した支援

シンズリ道路の功績

	単位	2012年調査	2015年調査	増加率
1. 道路から100m以内の土地利用状況				
a) 社会開発指標				
村に接続する道路数	本	70	135	93%
家屋数	軒	1,938	3,327	72%
学校数	校	11	23	109%
病院および診療所	カ所数	1	11	1000%
b) 経済指標				
農業資材販売店	店舗数	4	21	425%
プロパンガス販売店	店舗数	0	11	-
飲食店	店舗数	284	372	31%
2. 家計調査指数				
土地価格	百万ルピー /ha	12.1	18.9	56%
世帯当たり収入	ルピー	119,815	244,308	104%
収入占める農業収入割合	%	26.7	39.9	13.2pp
世帯当たり支出	ルピー	110,020	154,969	41%
3ヶ月以内の食糧充足率	%	23.5	12.2	-11.3pp
携帯電話普及率	%	78	95	17pp
太陽熱パネル設置率	%	17	30	13pp
テレビアンテナ設置率	%	16	32	16pp

出典:シンズリ道路維持管理運営強化プロジェクト 社会経済調査結果最終報告書(2015年8月)

シンズリ道路の功績

- 国家のレジリエンス向上
- 圧倒的なストック効果
 - 生産性の向上
 - 生活の質の向上
 - 域内のコネクティビティ向上を誘発
- これまで「選択」がなかった人々に「選択」と「機会」を与えた
- ネパールの首都と南部との間の空間感覚を変えた
- ネパールの技術者を育てた、ネパールの企業を育てた
- ネパールと日本の絆を深めた



ネパールの未来をひらく道であり、ネパールと日本をつなぐ道